

令和7年6月下旬の果樹巡回調査結果の概要について

【東北信】 巡回日 6月23、24、25日

1 りんご（東信3ほ場、北信8ほ場）

- (1) うどんこ病の発生はみられなかった。
- (2) 褐斑病の発生はみられなかった。
- (3) 黒星病の発生は、北信1ほ場で果実に対してみられ、
発病果率は1.3%であった。
- (4) 斑点落葉病の発生は、東信3ほ場、北信3ほ場でみられ、
発病葉率は0.3~4.5%であった。
- (5) キンモンホソガの寄生葉（マイン）は、北信1ほ場でみられ、
被害葉率は0.2%であった。
- (6) ハダニ類の寄生はみられなかった。
- (7) ハマキムシ類による新梢の被害はみられなかった。



図1 りんご黒星病の果実病斑（北信地域）

2 ぶどう（東信1ほ場、北信5ほ場）

- (1) うどんこ病の発生はみられなかった。
- (2) べと病の発生はみられなかった。
- (3) 黒とう病の発生はみられなかった。ただし北信の1ほ場で、当該ほ場の調査対象外である「シャインマスカット」に発生を認めた。
- (4) チャノキイロアザミウマの被害葉はみられなかった。

3 もも（東信2ほ場、北信4ほ場）

- (1) せん孔細菌病の発生は、東信2ほ場、北信3圃場でみられ、発病葉率は0.1~2.2%であった。
- (2) ハマキムシ類による新梢の被害はみられなかった。
- (3) モモハモグリガの寄生葉はみられなかった。
- (4) クビアカツヤカミキリの寄生はみられなかった。
- (5) モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

※ウメのアブラムシ類は巡回調査では発生がみられなかった

【中南信】 巡回日 6月22、24、25日

1 りんご（南信5ほ場、中信5ほ場）

- (1) うどんこ病の発生はみられなかった。
- (2) 褐斑病の発生は、中信2ほ場でみられ、発病果そう率は0.7%~1.3%であった。
- (3) 黒星病、斑点落葉病の発生はみられなかった。
- (4) 腐らん病の発生はみられなかった。
- (5) キンモンホソガの寄生葉（マイン）は、南信1ほ場でみられ、被害葉率は2.0%であった（図2）。
- (6) リンゴハダニの発生はみられなかった。
ナミハダニの発生はみられなかった。
リンゴサビダニの寄生はみられなかった。
- (7) ハマキムシ類の発生は、みられなかった。



図2 キンモンホソガの寄生葉（中信地域）

2 なし（南信7ほ場、中信1ほ場）

- (1) うどんこ病、黒斑病、黒星病の発生はみられなかった。
- (2) アブラムシ類の寄生はみられなかった。
- (3) カメムシ類、シンクイムシ類の被害果はみられなかった。
- (4) リンゴハダニの寄生はみられなかった。
ナミハダニの寄生はみられなかった。
- (5) 赤星病の発生が南信の1ほ場でみられた（図3）。



図3 赤星病の発生葉（南信地域）

3 ぶどう（南信2ほ場 中信3ほ場）

- (1) ベと病の発生は、みられなかった。
- (2) うどんこ病、黒とう病の発生は、みられなかった。
- (3) チャノキイロアザミウマの発生は、みられなかった。

4 もも（南信1ほ場、中信1ほ場）

- (1) せん孔細菌病の発病葉が、南信1ほ場、中信1ほ場でみられ、発病葉率は0.2~1.1%であった。
- (2) ハマキムシ類の寄生はみられなかった。
- (3) モモハモグリガの被害葉はみられなかった。
- (4) クビアカツヤカミキリの寄生はみられなかった。
- (5) モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

【侵入警戒病害虫】

りんご、なしの調査ほ場において、火傷病、コドリングアの発生はいずれもみられなかった。